

松林

No.10

令和7年7月 11日

校長 古瀬 義房



【学校の様子 6月・7月】

毎日暑い中、子供たちは、元気に活動に取り組んでいます。子供たちの日々の頑張りを紹介します。



「小作ばれいしょアンサンブル」の皆さんが、リコーダー演奏会。1年生から5年生が参加しました。音楽の長谷川先生も加わり、ピタゴラスイッチやくるみ割り人形など、親しみのある楽曲を披露してくれました。

リコーダー演奏会

まつのご学級では、建築家 関口 博之先生をお招きして、「わくわくワーク」に取り組みました。いろんな形をした木材を自分で選び、金槌やのこぎりを使って、木工作業を楽しみました。世界で一つだけの素敵な作品に仕上がりました。

わくわくワーク



ゆとりぎホールでアートinはむらを鑑賞した4年生。

松林小では、日頃から「わくわくアート」で、様々な絵画を見ては、想像したことを発表し合っています。それもあって、みんなが「へえー、すごいところに気付いたな。」と思うようないい発想をたくさん発表し合い、充実した鑑賞ができました。

アートinはむら

3年生は、スーパーマーケット「いなげや」さんに見学に行きました。見学目標は「スーパーマーケットのひみつを見つけよう。」です。お店の方がお客さんのために、様々な工夫をしていることを実際に見て、聞いてたくさんのヒミツを見つけることができました。

スーパーマーケット見学



ニコニコラム

生活指導主任
特別支援コーディネーター

いよいよ子供たちが楽しみにしている夏休みが目の前までやってきました。今回のニコニコラムでは、夏休みに向けて注意していただきたいことを中心にお伝えします。

7月の生活目標

【生活】安全に生活しよう。

【安全】知らない人に声をかけられたら。

(不審者対応についての指導)



- ①飛び出しや自転車での事故に注意しましょう。
- ②多摩川など河川へ子供たちだけで行くことは禁止しています。また、海水浴での水の事故にも十分に気を付けましょう。
- ③「いかのおすし」を意識した自分の身を守る行動を！困った時にはすぐに警察への通報をお願いします。

また、オンラインや SNS 等をきっかけにしたトラブルが増えています。夏休み期間も各御家庭でルールを徹底して安全に使用できるよう御協力よろしくお願いいたします。

『夏休みを心地よく過ごすために～特別支援教育の視点から～』

いよいよ来週から夏休みが始まります。自由な時間が増える夏休みは子供達にとってリラックスできる大切な時間です。一方で保護者の方にとってはお子さんの過ごし方について少し心配になることがあるかもしれません。お子さんによっては、学校という決まった場所や時間割がなくなること、気持ちや行動が不安定になったり、新学期への適応が難しくなったりすることがあります。

まずは、生活リズムを意識してみましょう。完全に学校と同じリズムでなくても大丈夫ですが、ご家族で「ゆとりある夏休みバージョン」を考えてみてください。

《生活リズムのポイント》

- ◎寝起きの時間を大きくずらさないようにしましょう。(ずれは30分～1時間程度に留める)
- ◎朝ごはんの時間を決めておきましょう。
- ◎日中に体を動かす時間を取り入れてみましょう。
- ◎デジタル機器の利用時間を決めておきましょう。

また、「宿題が進まない」「イライラしている」といった様子は「心身が疲れている」「やるべきことがわからない」などの困り感のサインかもしれません。もしお子さんの様子で心配なことがある場合は、「何か困っているのかな？」という視点でお子さんの様子を観察してみてください。

《困り感に気付いたら》

- ◎具体的な声掛けや「今日の予定表」で見通しをもてるようにしてあげましょう。
- ◎当たり前のこと、小さなことでも、できたことを具体的に褒めてあげましょう。
- ◎無理に活動させず、休息の時間を確保してあげましょう。

夏休みはお子さんと同じく向き合える貴重な時間でもあります。どうぞ、ご家族で素敵な夏休みをお過ごしください。